

「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナー」を開催

2013年9月11日

9月11日（水）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、ソウル国立大学医学部消化器外科 Han-Kwang Yang 教授を迎え、「Gastric Cancer : OR (Operating Room) to Bench」と題して、金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナーを開催しました。Yang教授は韓国を代表する世界的に著名な消化器外科医です。

セミナーでは、Stage IIIからIVの胃がん手術時における癌細胞播種の危険性や、腹膜転移癌に対する新規開発ゲルを用いた抗がん剤のデリバリーによる治療成績など、Yang先生のグループの膨大な蓄積から得られたデータを詳細に紹介して頂きました。また、臨床医の立場から、基礎研究者と問題点の意識を共有する事により研究を推進することの重要性を提案して頂き、将来の国際共同研究につながる講演会となりました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約50名が参加し、熱のこもった活発な質疑応答や意見交換が行われ、とても有意義な講演会でした。



次世代重点研究プログラムセミナー

Gastric Cancer : OR(Operating Room) to Bench

講演者

ソウル大学 医学部 消化器外科
教授

Han-Kwang Yang 先生

日時 : 平成25年 9月11日(水) 16:30~17:30

場所 : 金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

Yang博士はソウル大学医学部腫瘍外科の教授で、胃がんを中心とした臨床に従事される一方で、基礎研究においても多くの成果を出されています。

Yang博士の研究室には、世界でも有数のヒト胃がん臨床検体を有しており、それを用いたゲノム解析により、胃がん発生原因の新規遺伝子変異の発見が報告されました (Yoon et al, Genome Res, 2013)。

今回、本研究所を訪問されるにあたり、OR to Benchというタイトルで、胃がんの臨床と基礎研究の連携についてお話しして頂きます。将来の共同研究の機会となればと思います。

皆様、奮ってご参加ください。

連絡先 : 大島 (がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760)